

令和7年度（2025年度）江戸川区立清新第一小学校（理科）科第（4）学年			
年間指導計画 及び評価規準			
【知理】…知識理解 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ			
学	月	単元名	評価規準
1 学 期	4	◎季節と生物① 春の始まり	【知技】動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
	1. 天気と気温		【主体】身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【知技】天気によって1日の気温の変化のしかたに違いがあることを理解している。
			【知技】天気と1日の気温の変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】天気と1日の気温の変化について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】天気と1日の気温の変化について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】天気と1日の気温の変化についての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
	5	2. 季節と生物② 春	【主体】天気と1日の気温の変化についての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
			【知技】動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
	3. 電気のはたらき		【主体】身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
			【主体】身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【知技】乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。
			【知技】電流のはたらきについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】電流のはたらきについて、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】電流のはたらきについて、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
	6	4. とじこめた空気や水	【主体】電流のはたらきについての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
			【主体】電流のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【知技】閉じ込めた空気を押すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解している。
			【知技】閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している。
			【知技】空気と水の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】空気と水の性質について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
2 学 期	7	◎季節と生物③ 夏	【思判表】空気と水の性質について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】空気と水の性質についての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
			【主体】空気と水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【知技】動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
	9	◎季節と生物④ 夏の終わり	【思判表】身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
			【主体】身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【知技】星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
			【思判表】星の特徴について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
	5. 雨水のゆくえ	◎星や月① 星の明るさや色	【主体】星の特徴についての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
			【知技】夏の終わりの身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
			【思判表】夏の終わりの身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】夏の終わりの身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】夏の終わりの身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
			【主体】夏の終わりの身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	10	6. 星や月② 月や星の位置の変化	【知技】水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。
			【知技】水の浸みこみ方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。
			【知技】雨水のゆくえと地面のようすについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【知技】水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと、また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。
			【知技】自然界の水のようすについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】雨水のゆくえと地面のようすについて、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
2 学 期	7. わたしたちの体と運動		【思判表】雨水のゆくえと地面のようすについて、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】雨水のゆくえと地面のようすについての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
			【主体】雨水のゆくえと地面のようすについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【主体】水の状態変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【主体】自然界の水のようすについての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
			【主体】自然界の水のようすについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【知技】月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。
			【知技】空には、明るさや色の違う星があることを理解している。
			【知技】星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。
			【知技】月や星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】月や星の特徴について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】月や星の特徴について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】月や星についての事物・現象に進んでかわかり、他者とかわかりながら問題解決しようとしている。
			【主体】月や星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【知技】ヒトの体には骨と筋肉があることを理解している。
			【知技】ヒトが体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。
			【知技】ヒトやほかの動物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】ヒトやほかの動物について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。

3 学 期	11		【思判表】ヒトやほかの動物について、観察、資料調べなどを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】ヒトやほかの動物についての事物・現象に進んでかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしている。
			【主体】ヒトやほかの動物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
		◎季節と生物⑤ 秋	【知技】動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしている。
			【主体】身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	8. ものの温度と体積		【知技】空気・水・金属は、あたためたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。
			【知技】空気・水・金属の温度と体積について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】空気・水・金属の温度と体積について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】空気・水・金属の温度と体積について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】空気・水・金属の温度と体積についての事物・現象に進んでかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしている。
	12	◎星や月④ 冬の星	【主体】空気・水・金属の温度と体積について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【知技】月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。
			【知技】空には、明るさや色の違う星があることを理解している。
			【知技】星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。
			【知技】月や星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】月や星の特徴について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】月や星の特徴について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】月や星についての事物・現象に進んでかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしている。
			【主体】月や星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	1	◎季節の生物⑥ 冬	【知技】動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】冬の身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】冬の身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】冬の身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】冬の身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしている。
		9. もののあたたまり方	【主体】冬の身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【知技】金属は熱せられた部分から順にあたたまるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体があたたまることを理解している。
			【知技】金属・水・空気のあたたまり方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】金属・水・空気のあたたまり方について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】金属・水・空気のあたたまり方について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】金属・水・空気のあたたまり方についての事物・現象に進んでかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしている。
	2	10. すがたを変える水	【主体】金属・水・空気のあたたまり方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
			【知技】水は、温度によって水蒸気や氷に変わることで、また、水が氷になると体積が増えることを理解している。
			【知技】水の状態変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】水の状態変化について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】水の状態変化について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】水の状態変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	3	◎季節の生物⑦ 春のおとずれ	【知技】動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。
			【知技】身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。
			【思判表】身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をともに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
			【思判表】身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。
			【主体】身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしている。
			【主体】身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。